整理番号 2020M-025

補助事業名 2020年度 機械類の安全性に関する標準化等調査研究補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本機械工業連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本事業は、あらゆる機械に網羅的に、横断的に使用できる機械の安全性向上のための 国際標準(ISO、IEC)及び日本工業標準(JIS)原案の開発・審議・作成、及 び継続的見直しを行い、これら標準を通じて機械の安全性向上を図り、労働災害の減少 に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

本事業では、労働災害の低減に寄与するための活動として、ISO/TC199 (機械類の安全性)及び IEC/TC44 (機械類の安全性一電気的側面)で担当する国際安全規格の審議・開発を実施するとともに、これら国際規格に対応した JIS 原案の作成等を行っている。

ア. 国際規格の審議・開発

本年度は、ISO/TC199関連では、ISO/TR22053 (支援的保護システム)、ISO21260 (機械の可動部分と人が物理的に接触することに関する安全データ)、及びISO/TR22100-5 (AI-機械学習の安全性への影響) など8件の検討を実施した。その他、定期見直しなど16件の審議を実施した。

またIEC/TC44関連では、IEC 61496-5 (電気的検知保護装置-レーダー)、IEC/TS62061-2 (安全制御システムガイド)、IEC/TS62998-3 (人保護のために使用される安全関連センサーセンサ技術及びアルゴリズム) など8件の検討を実施した。

イ. JIS 原案の作成等

JIS原案の作成については、継続案件としてTR B 0039-4* (機械製造業者がITセキュリティ面を考慮するための指針)、JIS B 9963 (人を検出する保護設備の使用基準)及びTR B 63074 (安全関連制御システムの機能安全に関するセキュリティ側面)の3件について、原案作成を終了した。

また、新規案件としてJIS B 9712 (両手操作制御装置)、JIS B 9719 (機械安全 - 取扱説明書)、JIS B 9704-3 (電気的検知保護設備-拡散反射形光電保護装置) 及びJIS B 9961 (安全関連電気・電子・プログラマブル電子制御システムの機能 安全) の4件の作成作業を実施した。

*2021年発行済み

ウ. URL

- ISO 関連 http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2736/2739.html
- IEC 関連 http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2736/2740.html



2 予想される事業実施効果

本事業成果は、産業機械全般に適用可能な安全に関する標準であるが、近年においては産業機械に加え、サービス機械及びそれらの標準への利活用も進められ、労働災害の減少に寄与している。

また、最近では、機械等が様々なネットワークを形成し、新たな付加価値の創出や 資源の効率化をはかるため、ICT技術の利用が進められているが、この場合、新しい課 題としてセキュリティ問題が出てくることが予想される。本事業で作成した標準では、 この新たなセキュリティの課題へも対応すべく、標準を作成しており、今後、これら 標準が実際の機械設計に活用されるとともに、同様の課題をもつ様々な業界の標準作 りにも活用されることが予想される。

3 補助事業に係る成果物

- (1)補助事業により作成したもの
 - · 2020年度 ISO/TC199部会成果報告書 http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2736/2739.html

·2020年度 IEC/TC44部会成果報告書

http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2736/2740.html

· ·	2	
2020 年度	1 A	
ISO/TC199 部会	BCDE	4
130/10199 的云	1 章 380/T0199 御会の目的	
成果報告書	2 章 380/TC199 部会模成表 2.1 報酬体制	
	2.2 ISO/TO199 部会委員名第(敬称略、顯不同)	
	2.3 国際規格関係等 WG 委員名簿	
(機械類の安全性に関する標準化等調査研究)	2.4 リスクアセスメント協議会	
	2.5 ISO/TO199 国際委員会組織 2.6 ISO/TO199 国際委員会と国内部会	
	3章 250/T0199 部会及びWG開催一覧	
	3.1 ISO/T0188 部会開催状況	
	8.2 国際機格対応 WG 及び 。DSWG 等関値状況	
	3.3 リスクアセスメント 整備会 3.4 回際会議出席状況	
	4章 2020年度国際規格審議及びJIS 原来の作成	
	4.1 本年皮鬱腸した顕微境格及び春藤等内容	
	4.1.7 発行された国際規格 4.1.2 PDDS(国際技術是終展案) 関連	
2021年3月	41.3 DIS(国際集件家員票券/男達	
	41.4 OD(委員会原案)開選	
一般社団法人 日本機械工業連合会	41.5 NMIP(新規作業項目)養達	
	41.6 SR(定期見直し)	79
	4.1.7 GB(委員会内投票)養進 4.1.8 その他	87
	4.2 JIS 原来の作成	
旋輪の補助事業 この報告書は、競輪の補助により作成しました。	4.3 リスクアセスメント協議会	
https://jka-cycle.jp	おわりに	98
	4	
3	4	
3	4	
	目次 ご挨拶	
2020 年度	目次 ご挨拶 1 国際組織	
	自次 ご接拶 1 国際指導 1.1 IEC 加盟国ー覧 1.2 IEC/TC 44 参加国一覧	
2020 年度	目次 ご接拶 1 国際組織 1.1 IEC 加ィ国一覧	
2020 年度 IEC/TC44 部会	目次 ご挨拶	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次 ご接拶	
2020 年度 IEC/TC44 部会	目次 ご挨拶	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次 「技術 1 国際組織 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次 1 国際組織	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書 (機械類の安全性に関する標準化等調査研究)	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書 (機械類の安全性に関する標準化等調査研究)	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書 (機械類の安全性に関する標準化等調査研究)	目次 1 国際相機	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書 (機械類の安全性に関する標準化等調査研究) 2021年3月 一般社団法人 日本機械工業連合会	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書 (機械類の安全性に関する標準化等調査研究) 2021年3月 一般社団法人 日本機械工業連合会 ※輪の補助事業 この報告書は、競輪の補助により作成しました。	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書 (機械類の安全性に関する標準化等調査研究) 2021年3月 一般社団法人 日本機械工業連合会	目次	
2020 年度 IEC/TC44 部会 成果報告書 (機械類の安全性に関する標準化等調査研究) 2021年3月 一般社団法人 日本機械工業連合会 ※輪の補助事業 この報告書は、競輪の補助により作成しました。	目次	

(2)(1)以外で当事業において作成したもの該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名: 一般社団法人 日本機械工業連合会

(イッパンシャダンホウジン ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

住 所: 〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号

代 表 者: 会長 大宮 英明 (オオミヤ ヒデアキ) 担当部署: 標準化推進部 (ヒョウジュンカスイシンブ)

担当者名: 部長 宮崎 浩一 (ミヤザキ ヒロカズ)

電話番号: 03-3434-9436

F A X: 03-3434-6698

E-mail: hyojun@jmf.or.jp

U R L: http://www.jmf.or.jp/